

臨床検査部の精度管理に関する事項

公立大学法人 横浜市立大学附属病院 臨床検査部

作成日 2020/07/03

1. 外部機関の認定
ISO15189 認定書 ホームページに掲載
2. 外部精度管理実施状況(毎年以下を実施)
 - 1) CAP サーベイ ホームページに掲載
 - 2) 日本臨床検査技師会 精度保証施設認証書 ホームページに掲載
 - 3) 日本医師会
 - 4) 神奈川県臨床検査技師会
3. 機器管理(QP9 機器管理手順(最新版)に基づき、以下を実施)
平日は毎日、冷凍冷蔵庫および日本フリーザー超低温槽の温度確認および遠心機の動作確認、心電計の保守点検を実施して機器管理記録(保守管理点検記録)に記録する

	検証手順	設定/性能	機種
標準温度計デジタル 指示温度計 (株式会社チノー)	校正は1年に1回、外部専門業者に依頼して実施し校正証明書を保管する		SST-100PT
監視機能付き 無線ロガー MD8000シリーズ ワイヤレス ウォッチャ (株式会社チノー)	1年に1回標準温度計と照合確認し、記録する	30分間隔で記録	MD-8001-300/ MD-8101-300
冷凍冷蔵庫 (株式会社 荏原)	監視機能付き無線ロガーを冷凍・冷蔵に各2台、計4台設置	2°C~8°C/ -20°C~-40°C	HYCD-282
日本フリーザー 超低温槽 (日本フリーザー株式会社)	監視機能付き無線ロガー1台設置	-65°C~-90°C	CLN-32U
デジタルハンド タコメーター (株式会社 小野測器)	校正は1年に1回、外部専門業者に依頼して実施し校正証明書を保管する		HT-4200
遠心機 (久保田商事株式会社)	デジタルハンドタコメーターを使用し1年に1回、回転数の検証を実施して記録する 検証済の温度計とタイマーを使用し温度とタイマーの検証を実施して記録する	最高回転数4,800rpm 最大遠心力4,150g 冷却遠心可能	KUBOTA ユニバーサル 冷却遠心機 5910:2台/ 5911:2台
心電計 (日本光電工業株式会社)	機器メーカーの定期点検を1年に1回実施する	QTc補正は Bazett式を採用	ECG-1550 cardiofax V:4台

★上記機器管理記録、校正証明書のコピーは提供可能

温度ロガーの記録については膨大のため、複数台を A4 用紙 1 枚のグラフとして温度の平均値・最低値・最高値を表示した用紙の複写のみ提供可能

その他は閲覧にて確認